

## 第 122 回 GiST セミナー

(第 12 回 GiST-DX セミナー)

### 流域治水 – Society 5.0 の典型的実施例

講演者:

小池 俊雄

土木研究所

水災害・リスクマネジメント国際センター・センター長



- ◆ 日時： 2023 年 9 月 14 日 (木) 18 時 30 分～20 時 00 分 (開場 18 時 00 分)
- ◆ 場所： 政策研究大学院大学(GRIPS) 5 階 講義室M  
東京都港区六本木 7-22-1 <https://www.grips.ac.jp/about/access/>
- ◆ 主催： GRIPS 科学技術イノベーション政策プログラム(GiST)
- ◆ 言語： 英語 (同時通訳なし)

◆ 概要：

人間が排出する温室効果ガスの増加に伴って、これまで経験したことのない豪雨が、頻繁に、至る所で発生している。2021年に発表された第6次評価報告書では、「人間活動が大気・海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」、「地球温暖化が1°C進行するごとに極端な日降水量の強度が約7%上昇する」等と明記されるに至っている。

日本では大規模アンサンブル計算と動学的ダウンスケーリングによる高空間分解能化を組み合わせて得られるデータセットを用いて、気候の変化による極端降雨の降雨変化倍率を求め、これを計画降雨に乗じて治水計画を変更する手法が確立された。

この変更に対応できる新たな治水政策として、「流域治水」が執行されている。流域治水は、河川管理者が河川区域で行う対策をより一層加速することに加え、集水域では雨水貯留機能を高め、氾濫域では被害対象を減少させるとともに、被害の軽減と早期に復旧・復興するための対策を進めることによって、計画以上の災害外力に対しても社会の撓（しな）りを効かして被害を最小限にとどめ、持続的に発展する地域づくりを目指す政策で、流域のあらゆる関係者の協力が必要である。

◆ 講演者の略歴：

国立研究開発法人土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)センター長、東京大学名誉教授、日本学術会議会員、社会資本整備審議会河川分科会分科会長等を兼任。地球観測データ統融合利用のための「データ統合・解析システム(DIAS)」の開発を主導するとともに、河川流域規模から地球規模の水循環の観測や予測研究を進める傍ら、心理プロセスの研究を基に河川事業に関わる合意形成の実務に貢献。IPCC2007年ノーベル平和賞受賞貢献感謝状(2007)、中国科学院アインシュタイン教授賞(2009)、日本水大賞国際貢献賞(2010)、水文・水資源学会学術賞(2015)、中国科学院国際協力賞および中国政府友誼賞(2019)、地球観測政府間部会(GEO)個人優秀賞(2020)、米国地球物理学連合AGU Ambassador Award(2022)等を受賞。

◆ 進行： 廣木謙三 政策研究大学院大学教授

◆ プログラム：

18:30-18:35 講演者紹介

18:35-19:35 ご講演(60分間)

19:35-20:00 質疑応答(25分間)

◆ 申し込み：

参加ご希望の方、または今後の GIST からのご案内を希望される方は、2023 年 9 月 12 (火) 17 時までに下記登録フォームからお申し込みください（会場の収容人数の都合から、先着 70 名までとなります）。

<https://forms.gle/Ua8C2JaM6JSKtovk6>

登録フォームにアクセス出来ない場合は、下記内容を明記の上、[gist-ml@grips.ac.jp](mailto:gist-ml@grips.ac.jp)宛にメールにてお知らせください。

1. お名前、2. ふりがな、3. ご所属、4. お役職、5. ご連絡先（E-mail）

※ 1、3、5 は必須です。